

成長と分配の好循環の実現

2023年3月13日
マルティン シュルツ

成長と分配の好循環の実現 – 質の高い成長

- 「新しい資本主義」の何が新しいのか？

成熟した(高齢化した)経済では、成長が遅くなり、政府サービスに対する需要が高くなります。家計は構造改革への支持に消極的になり、より多くの所得支援(医療と年金)を必要としています。「新しい資本主義」は、長期的なダイナミズム、スキル開発、持続可能な投資のサポートに向けて、安定した市場フレームワークの提供者としての政府の伝統的な役割を拡大します。成長の好循環のビジョンは、GDP の成長から持続可能な家計所得の創出に移行。

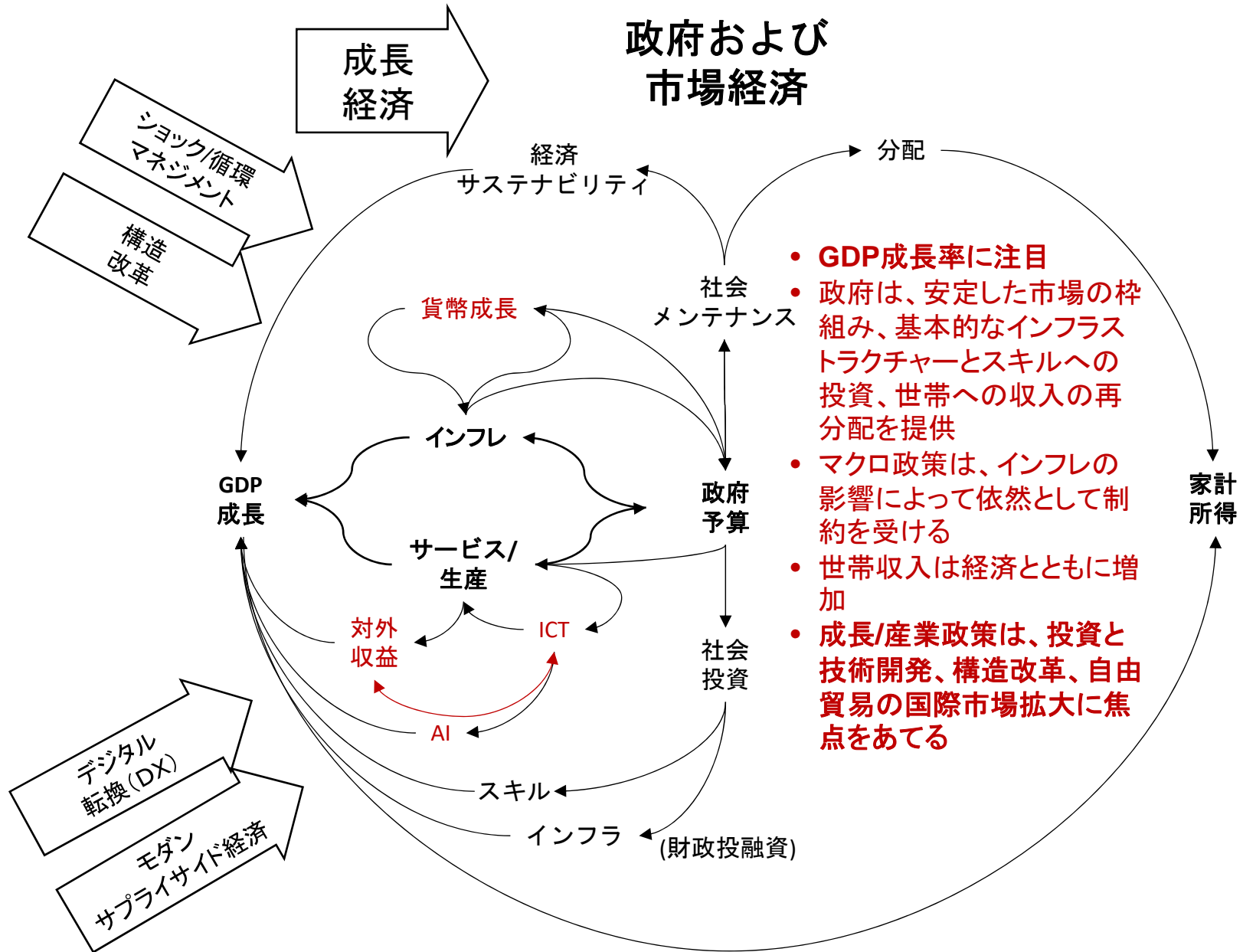
- 政府は長期的なダイナミズムと質の高い成長を可能にします

高齢化した世帯を持つ成熟した経済は、スキルの向上、女性の労働分配率の増加による収入の増加、生産的な政府サービスによってダイナミズムを維持する必要があります。高齢化社会における政府は、現状維持から長期的なダイナミズムへの投資へとシフト。

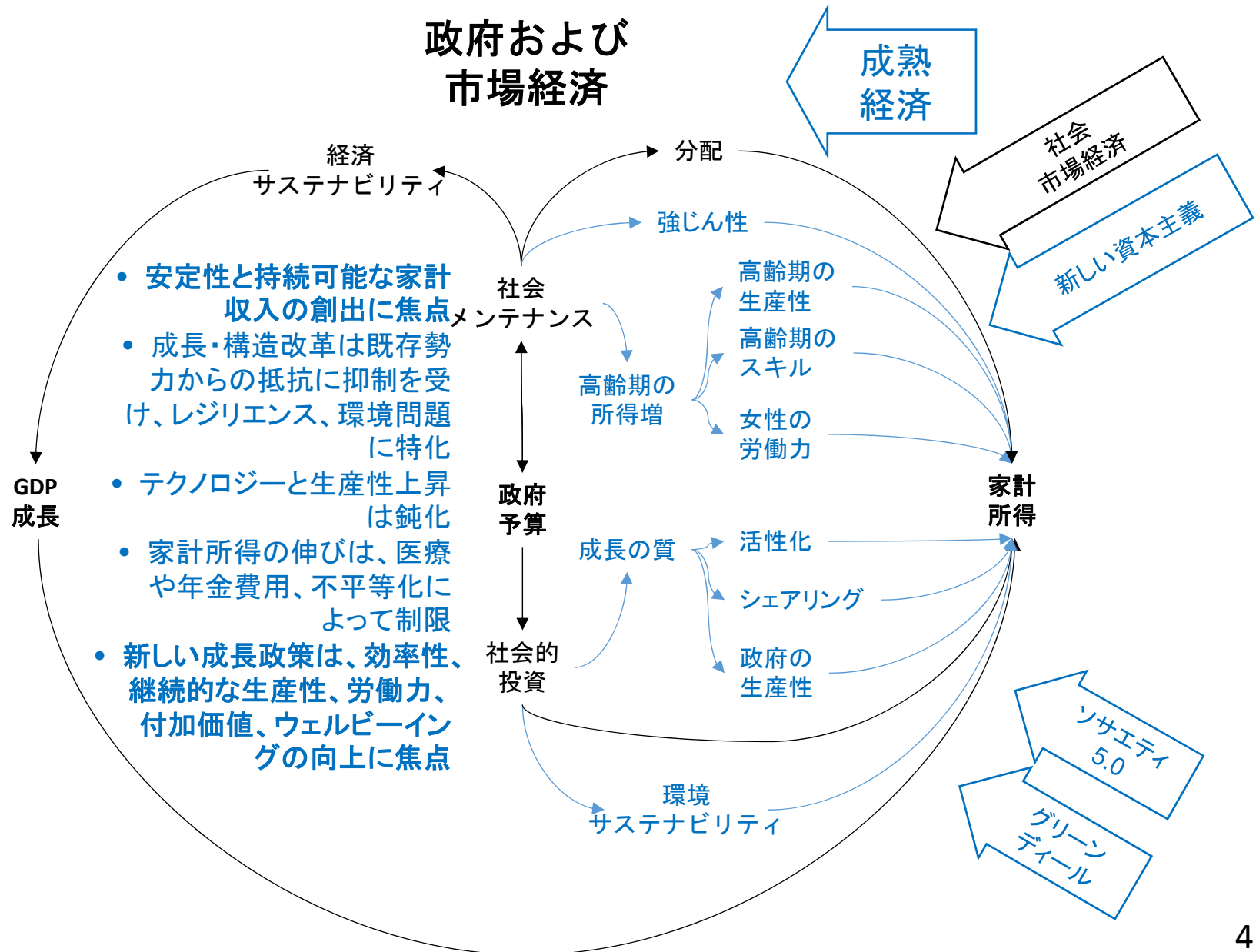
- 質の高い成長のための「ニューディール」は、デジタル、グリーン、スキルの変革をサポートします

米国では、「新しいサプライ サイド エコノミクス」が持続可能なインフラストラクチャと産業政策の開発をサポートしています。ヨーロッパでは、「グリーン ディール」がグリーンおよびデジタル投資をサポートしています。日本では、「新しい資本主義」がこうしたイニシアチブを持続可能な変革(SX)に向けて拡大することで、経済効率性のポテンシャルや政府の生産性を高めるとともに、高齢化する家計については、スキル開発、労働市場への参画、ウェルビーイングを活性化することにより世帯の稼得能力を強化します。

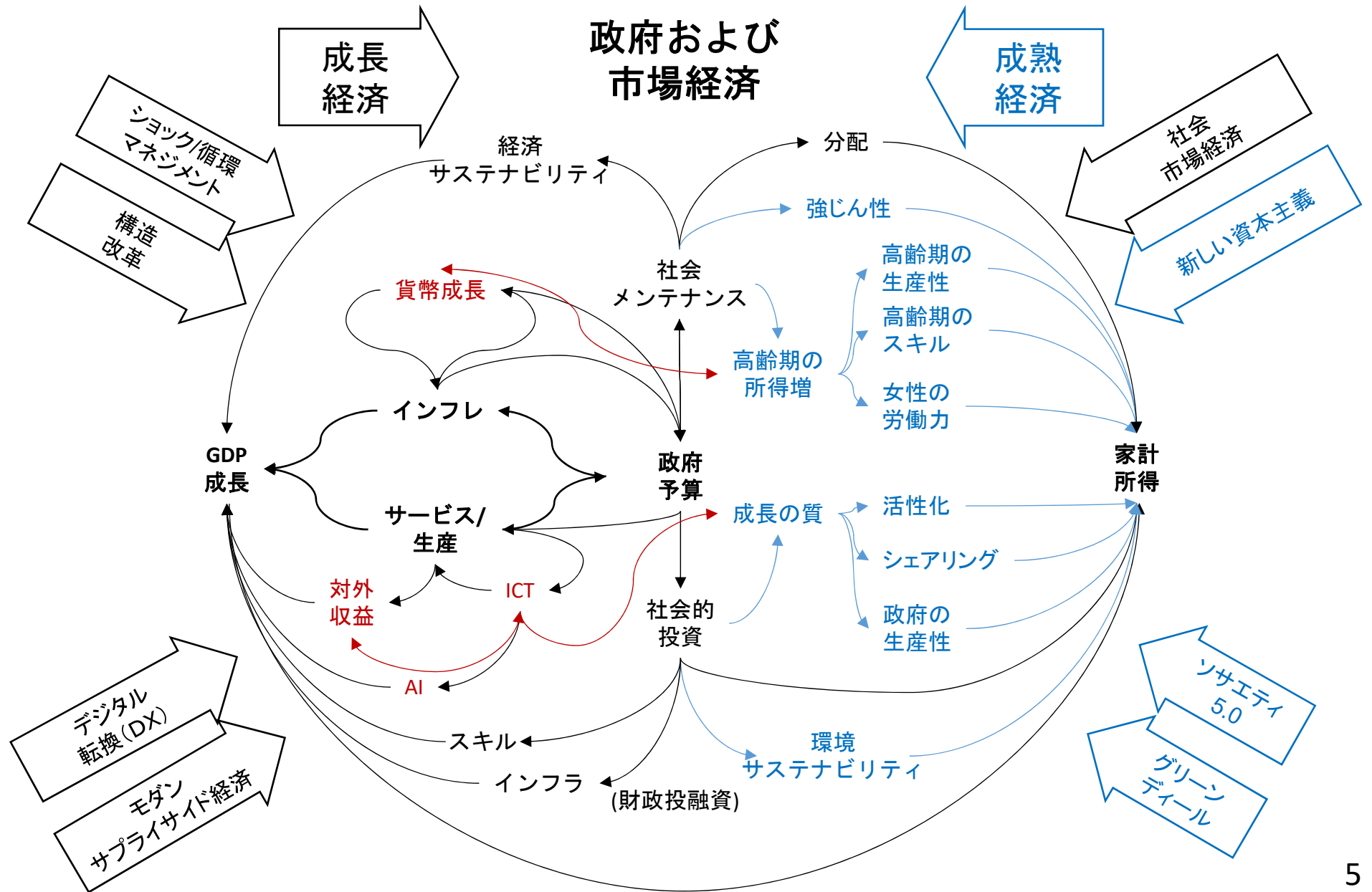
成長する市場経済における政府（「資本主義」）



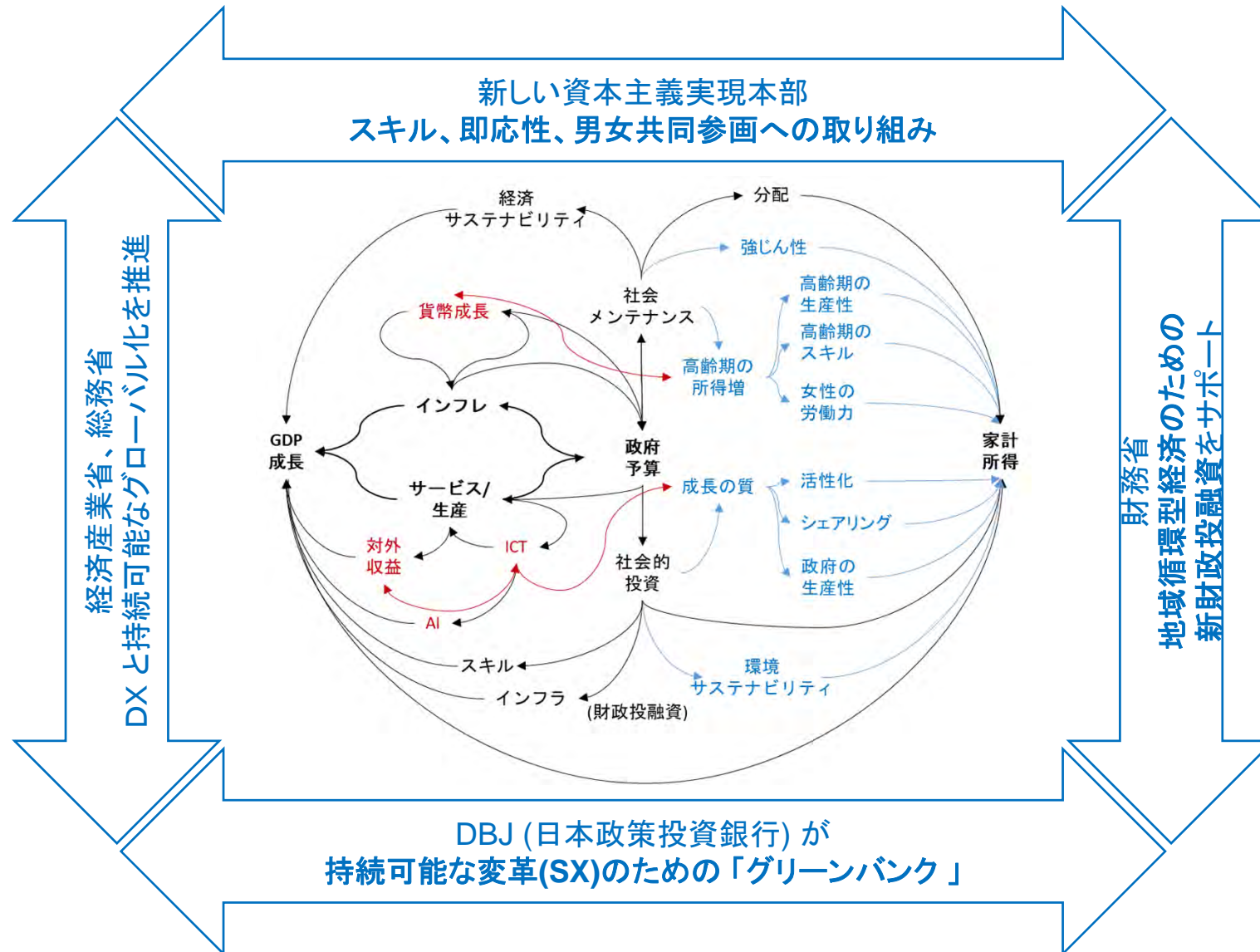
成熟経済成長政策（「新しい資本主義」）



質の高い成長の成熟経済サイクル

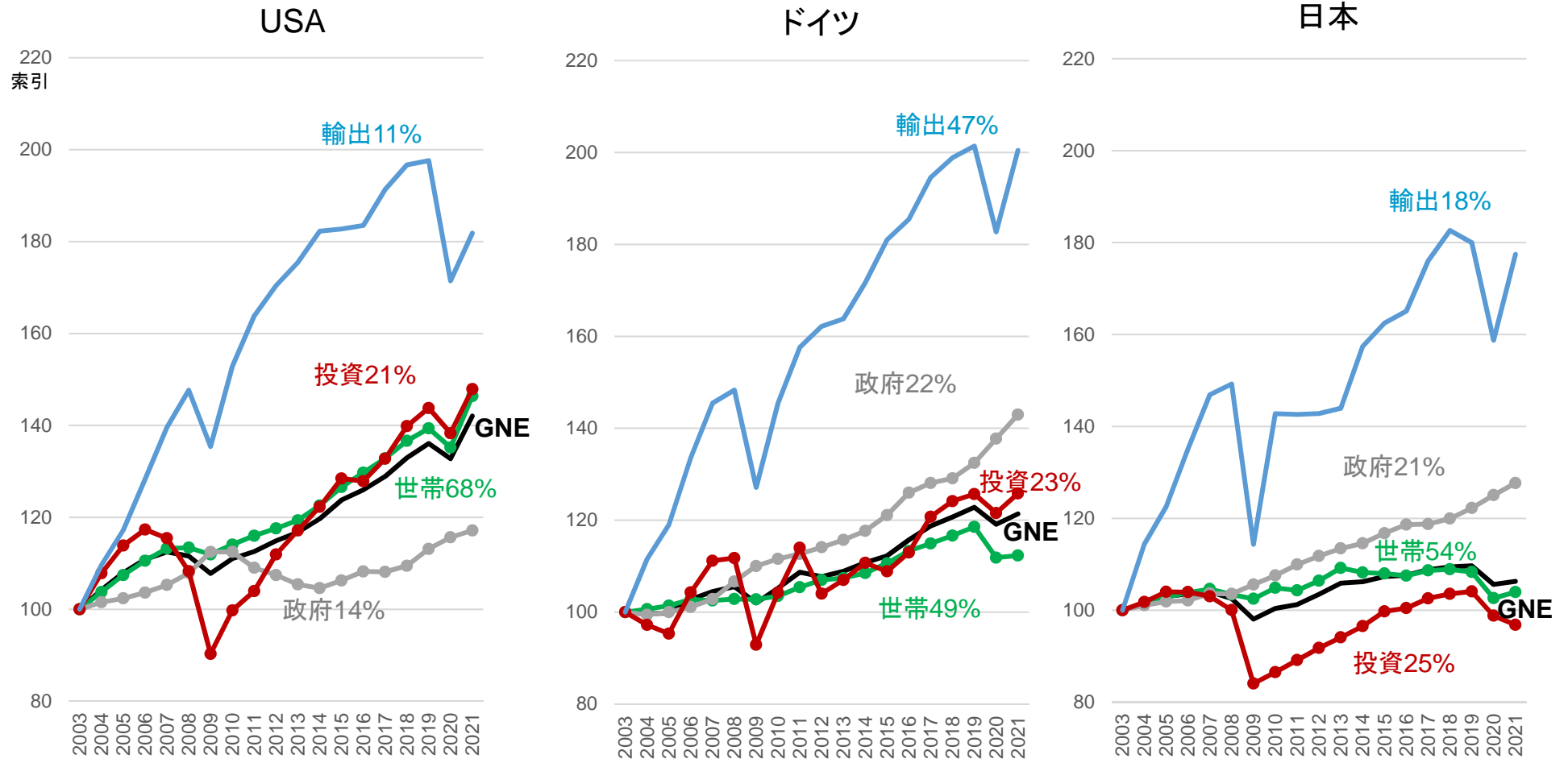


「新しい資本主義」 実現に向けた政策と制度



成熟した経済成長—グローバル化が鍵

需要の伸び (2003年=100) とGDPシェア (%)

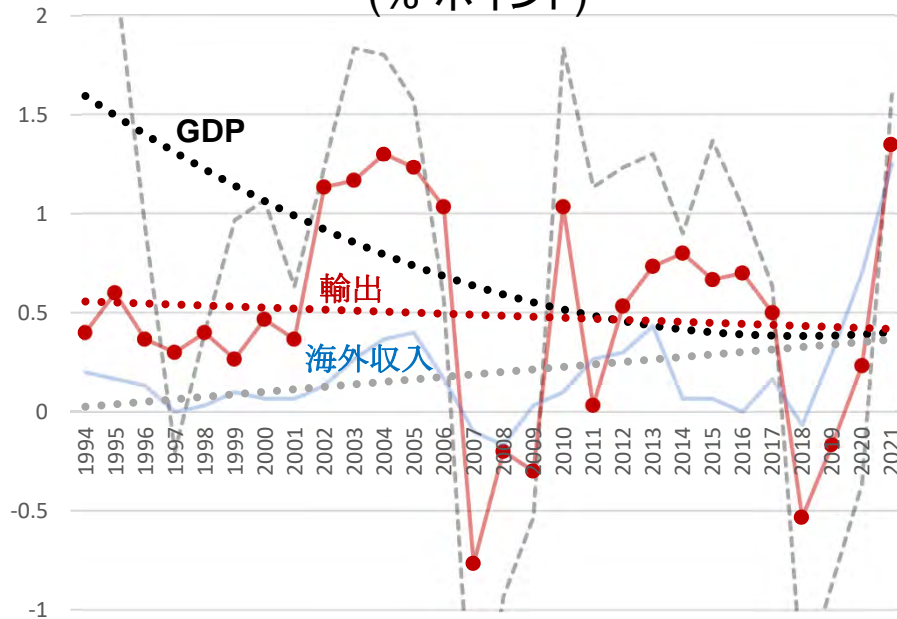


Note:国民総支出、2003=100、投資=固定資本形成。割合は部門別GDPシェア。

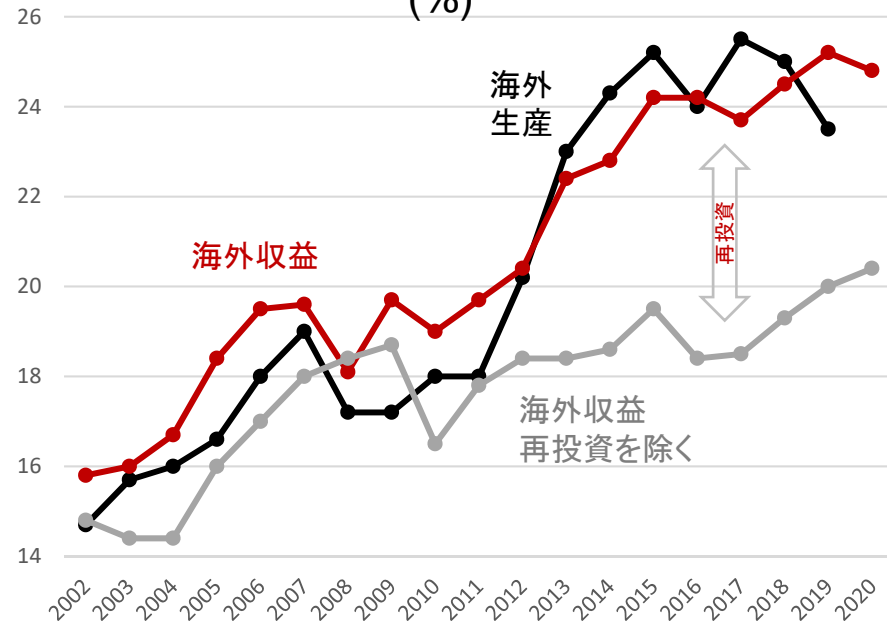
(資料) 世界銀行「世界銀行データベース」から作成。

日本-ダイナミックな輸出と海外生産

成長への貢献-輸出と対外収入
(%-ポイント)



製造業海外生産・利益
(%)



日本の輸出部門は比較的小さい (GDP 16%) が、成長への貢献度は極めて高い。総輸出は、潜在成長率がわずかに0.7%の経済に約0.5%の成長をもたらす。(純輸出寄与度は、輸入がマイナスの影響を与えるため低い。) 日本の製造業では、コスト削減とグローバルな市場拡大により、海外生産比率は全企業で24%、国際企業で34%となっている。海外の所得は現在、一人当たりの所得に1,644ドル寄与している。しかし、円安の影響で、海外収入は新規投資ではなく、収益の再投資 (海外) に支えられている。多国籍企業は既存の所得から利益を得ているが、新規投資はより困難になっている。

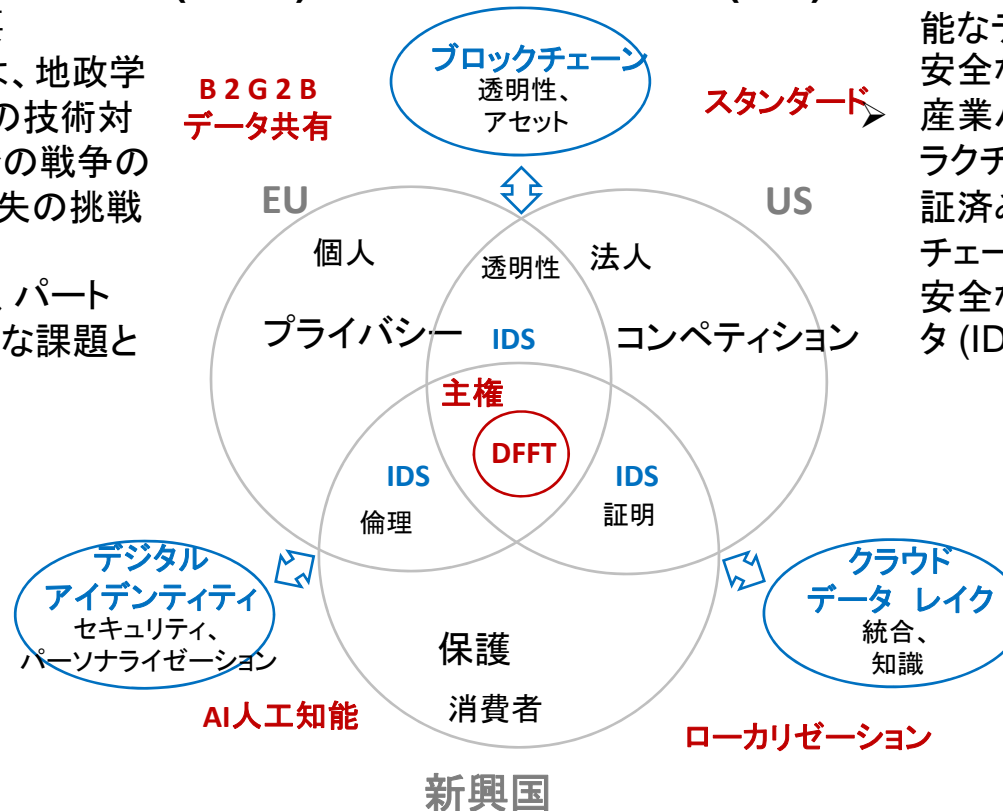
資料:日本銀行、経済産業省、世界銀行(2021、2022)から作成。

政府の革新-DFFTとグローバルデータ経済

G7チャレンジ (2023) :

- 持続可能な成長のためには、政治的緊張の中でも長期的なグローバルな協力が必要
- グローバリゼーションは、地政学的緊張、米国と中国との技術対立、およびウクライナでの戦争の結果としての信頼の喪失の挑戦を受けている。
- 経済制裁の悪影響は、パートナー国にとっても、大きな課題となっている

信頼性のある自由なデータ流通 (DFFT) & 国際データスペース (IDS)



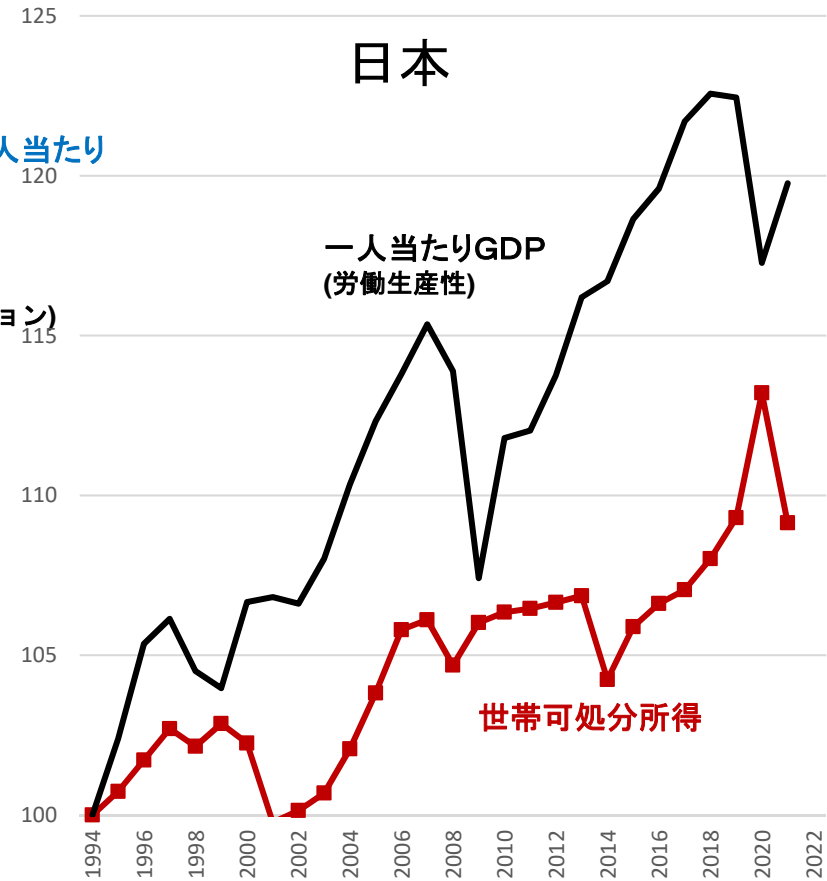
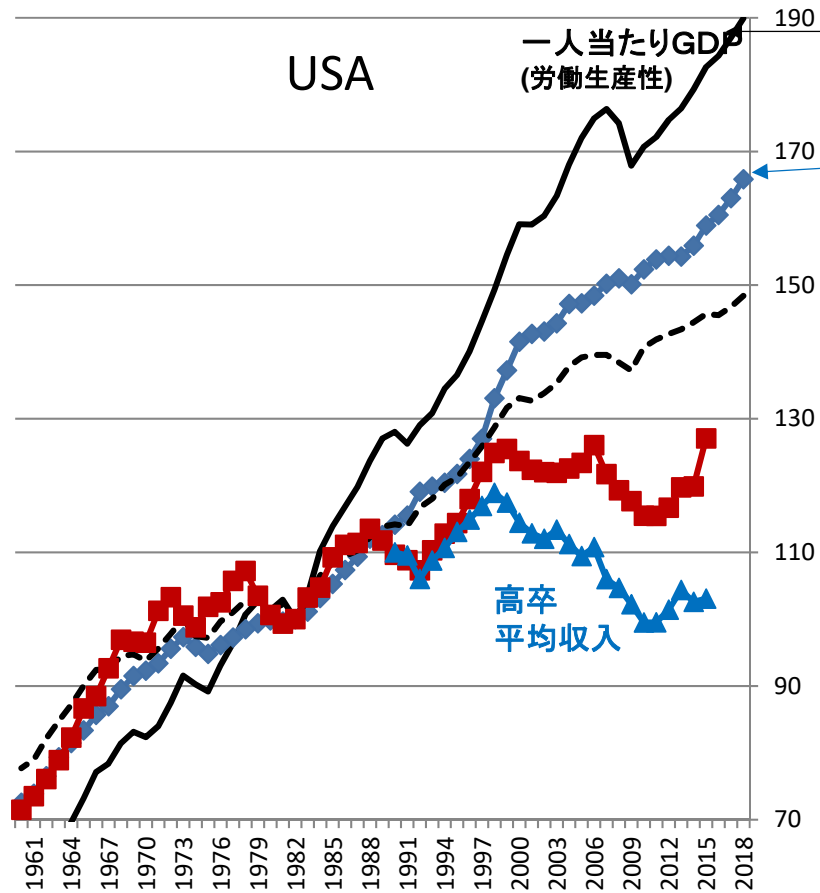
G7チャンス (2023) :

- G7は、新興国の全ての利害関係者に対して開かれた、持続可能なデータ交換・連携のための安全なプラットフォームを構築
- 産業パートナーが、インフラストラクチャ (クラウド) を提供し、実証済み「ゼロトラスト」(ブロックチェーン) 技術がサポートされ、安全なインターフェイスとコネクタ (IDS) が開発される

G7へのメッセージ

長期的な持続可能な協力が緊急に必要とされている時に、地政学的緊張が高まっている。信頼性のある自由なデータ流通 (Data Free Flow with Trust ; DFFT) は、新興国パートナーとのグローバルなデジタル連携と安全なデータ共有のためのオープンプラットフォームを構築する。

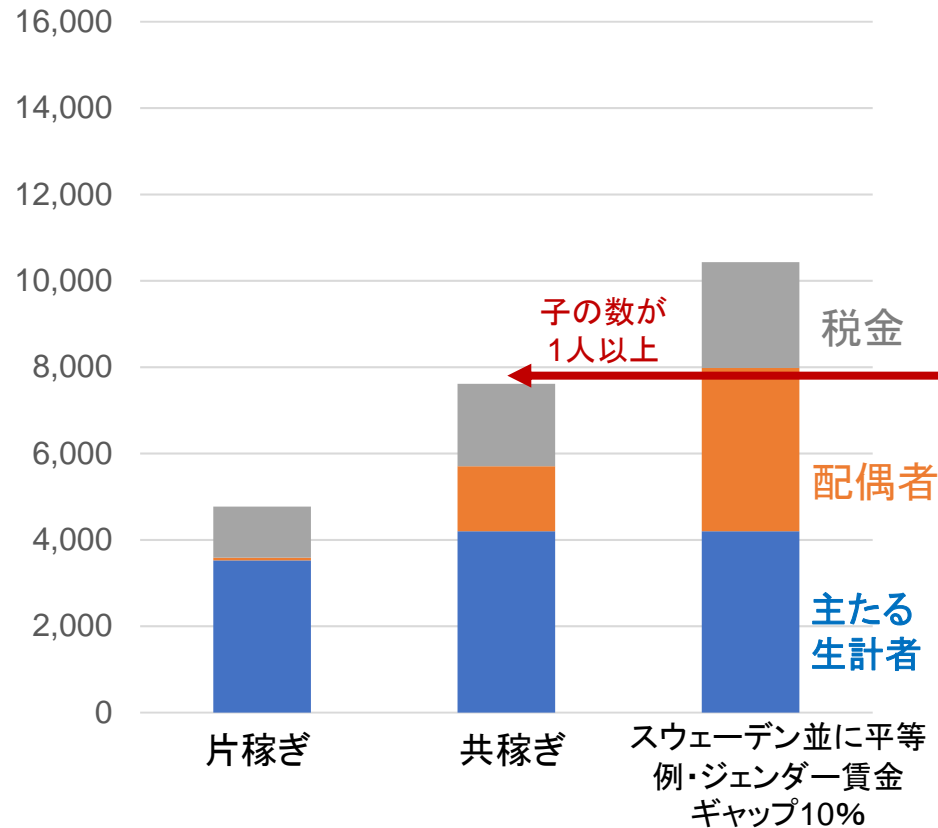
成熟した経済への挑戦-異なる所得の成長



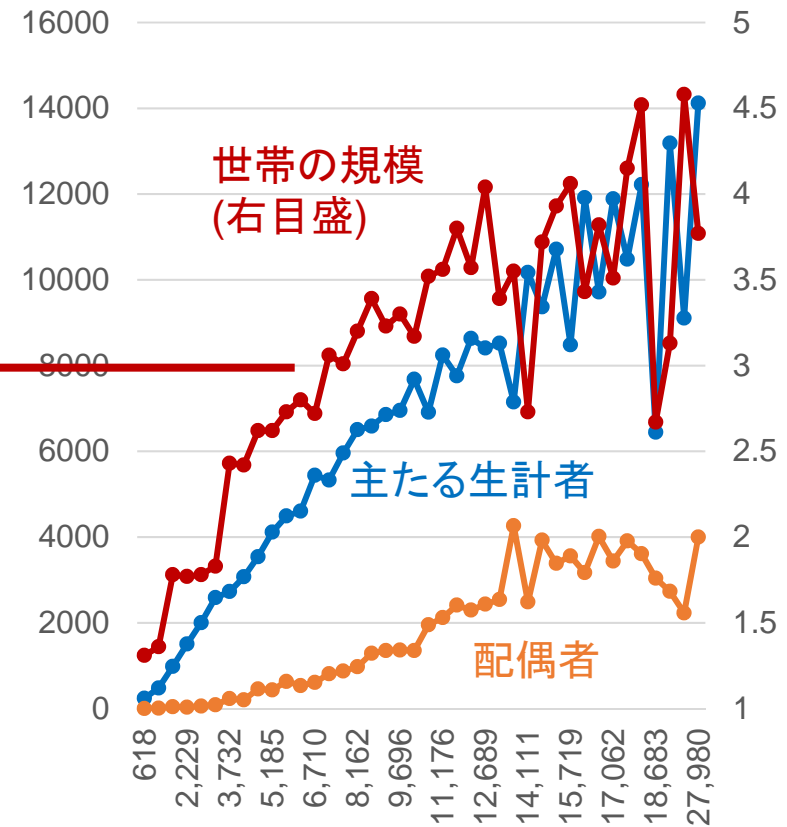
グローバル化とデジタル化は、労働生産性とトップの所得の向上を支えてきた。一般職の労働所得は停滞している。グローバル化が進んでいないデジタル志向の企業の生産性は停滞している。高齢した家計も停滞している。低スキル労働者はキャリアや成長の道を閉ざされる。

女性の賃金は家族の収入と規模の鍵

世帯収入、単身収入、共稼ぎ
男女共同参画 (1,000円)



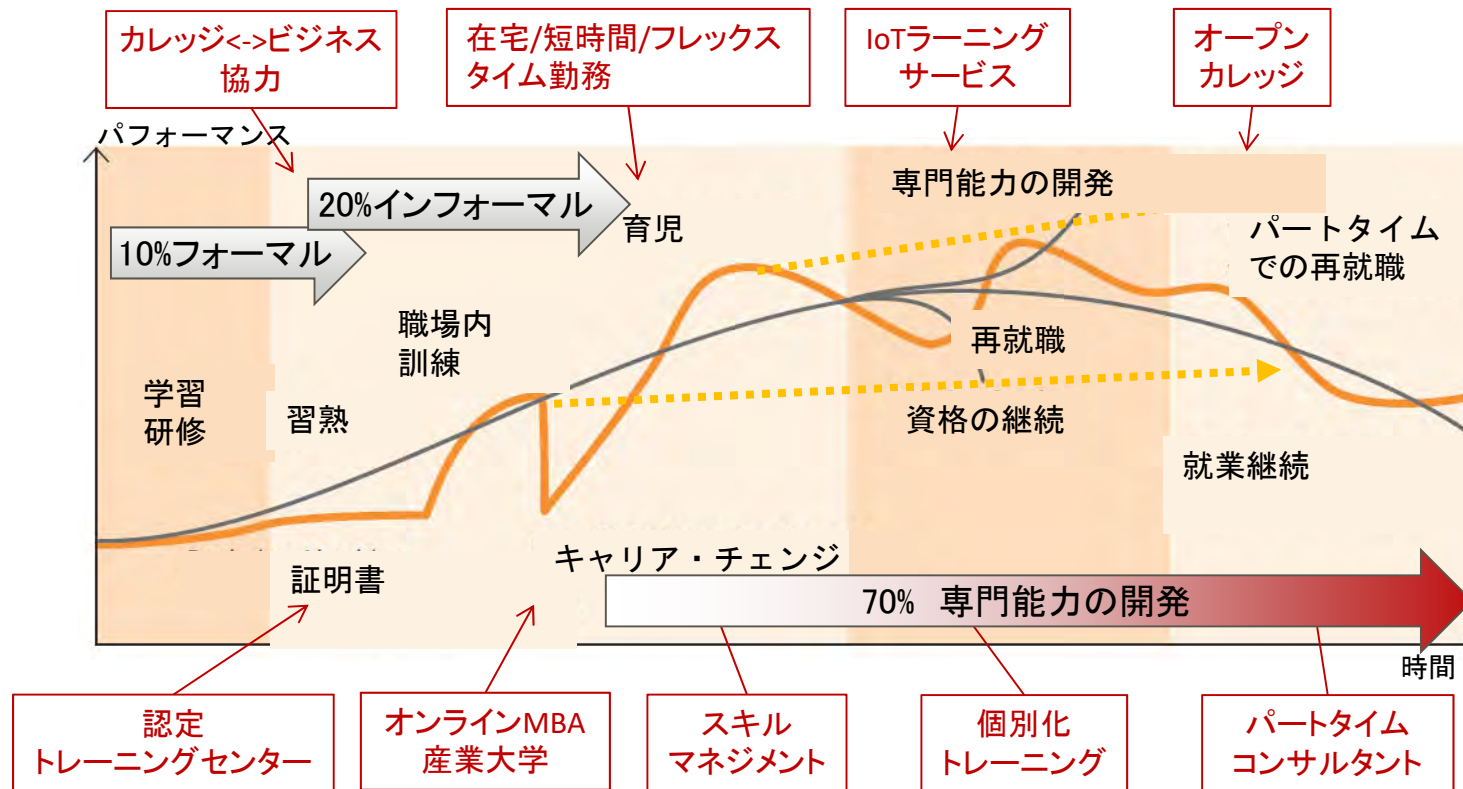
世帯収入と世帯規模
(1,000円;人)



女性の労働収入の増加は、世帯収入を増やす上で最も重要であり、達成可能な方法である。ジェンダーによる相対的所得平等 (スウェーデンと同様) な場合、世帯収入が200万円以上増やせる。世帯収入が800万円超では、子ども数も1人以上であり、少子化対策にもつながる

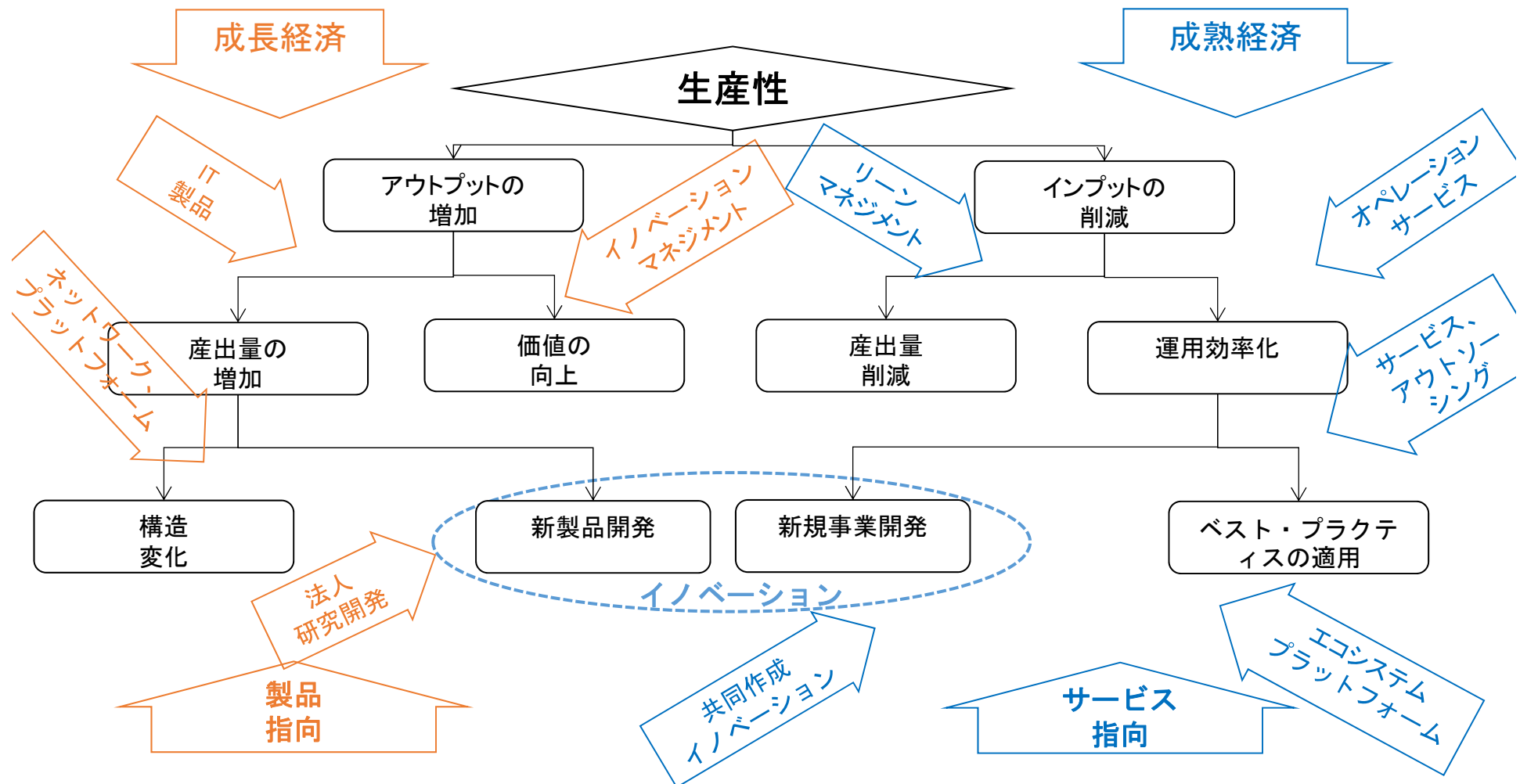
(資料) 全国家計構造調査 (2019年) から作成。

成熟経済 — スキルには生涯学習が必要



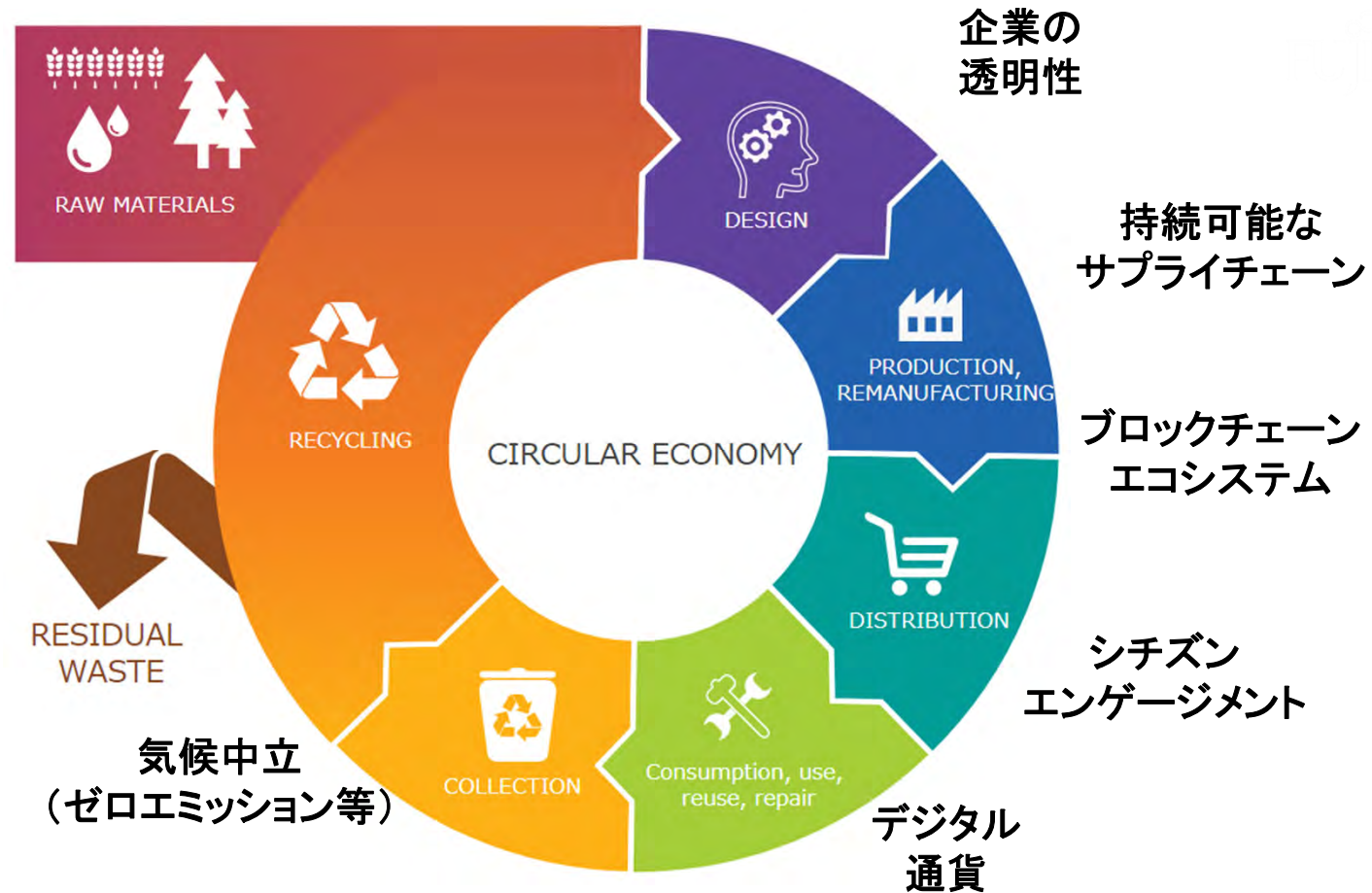
成熟した経済では、生涯にわたる専門能力の開発とリスキリングが必要である。企業を超えた新しい労働環境でのスキル認証、学習履歴、リスキリング、再就職に対する政府の支援が重要になる。

成熟経済 — 生産性の変革



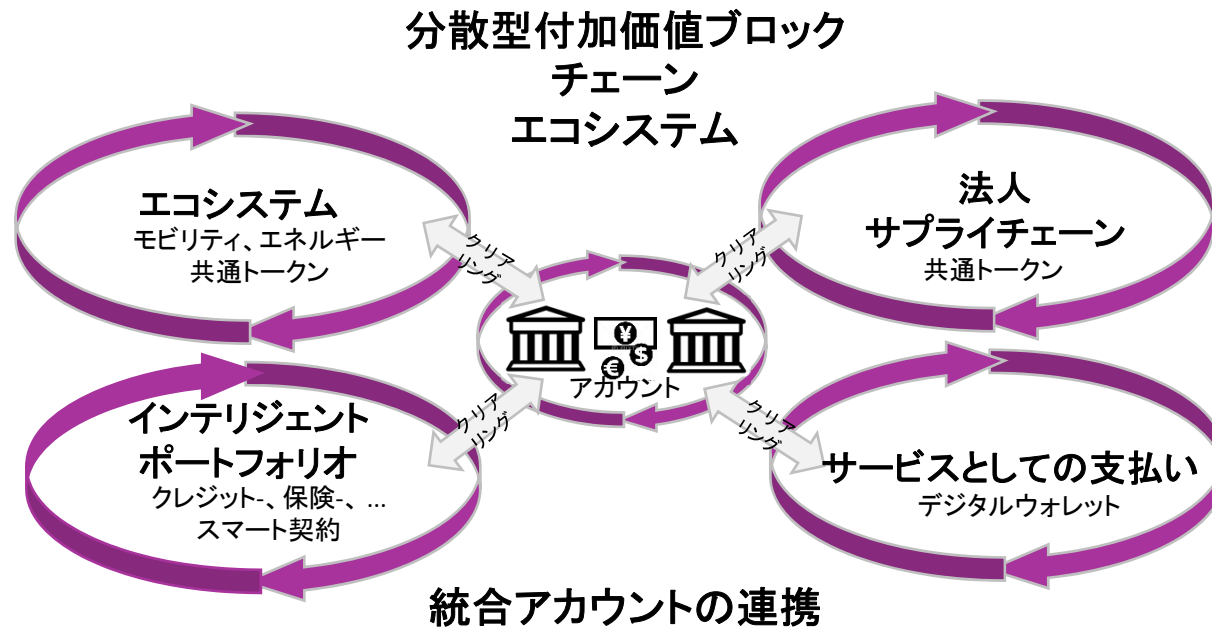
成長を続ける若い経済における生産性は、インフラ開発と企業の研究開発におけるサポートから得られる。成熟した経済においては、専門的なネットワーク(エコシステムインフォメーション、認証)、デジタル政府(デジタル法とアジャイルプロセス)、PPP研究ネットワーク(ドイツのフラウンホーファー研究所など)への支援から、サービスや革新的な業務開発が得られる。

成熟経済 — 循環経済におけるデジタル効率



グリーン・ディールは、グリーン・イノベーション、エコデザイン、循環型経済を実現する手段としてデジタル変革に依存している。ブロックチェーンは、持続可能なサプライチェーンに沿って進化するエコシステムの鍵となる技術となっている。デジタル通貨は、分散型ブロックチェーンエコシステムの循環型経済統合の次のステップを提供する。

政府の革新 — デジタルマネーとエコシステム



デジタルマネーは取引コストを7%以上下げることができる。日本の銀行をベースにしたデジタル通貨 (DCJPY) プロジェクトは、銀行口座に対する「デジタルコイン」(トークン)を作成し、多様なブロックチェーンエコシステムのための決済サービスを提供する計画である。DCJPYは、サプライチェーンとバリューチェーン間の「ゼロコスト」取引管理に対する共通技術を提供することとなる。ビジネス・エコシステムは、CO2会計、取引、自動「スマートコントラクト」支払いを統合する。金融サービスは、決済、資産、融資、リスク管理サービスを「スマートポートフォリオ」に統合する。

成熟経済 — デジタル政府が必要(ソサエティ5.0)

